

ちづ 智頭 議会 だより



町の花
どうだんつつじ

鳥取県智頭町議会

第170号

発行：令和7年4月16日

ピンク色に塗り替えし11年目を迎えた
現在の「恋山形駅♥」



令和7年度

★ 当初予算を可決!! ...P2~

★ 令和6年度 補正予算 ...P5~

★ 令和7年 第1回 臨時会 ...P6~

★ 6人の議員が一般質問に登壇 ...P8~

★ 特集 議会って何をするの? ...P11~

★ 各常任委員会の報告 ...P12~

★ 広報モニターの声 ...P14~

★ 町民の声(山郷地区) ...P16

智頭の思い出シリーズ59



智頭急行 旧「恋山形駅」

平成6年に智頭線開業と同時に設置された。平成25年に恋プロジェクトの一環で「恋」にちなんで、乗り場の待合室、駅全体の地上設備の塗装をピンク色に塗り替えを行った結果、多くの観光客が訪れた。トイレの要望が懸案となっていたが、本年度ついに前進する事になった。

Ⅱ 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり

共助交通運行事業

「のりりん」の運行を円滑に行うため、町民ドライバーの確保に努めるとともに「共助交通推進員」4名を配置し、サービスの向上を図る。



6,394万8千円

各種予防接種事業

【議員】。带状疱疹の個人負担は。

【執行部】。個人負担は約2割で、8割補助を予定している。

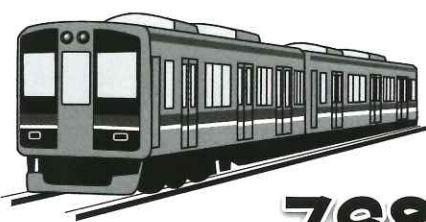


5,220万7千円

今までの定期予防接種に加え、新たに65歳以上5歳刻みで带状疱疹予防接種を開始

Ⅲ 子どもから大人まで学びと成長のまちづくり

高校生通学費補助



798万円

子育て世帯の負担軽減を図る

文化財整備活用事業



4,366万6千円

「智頭の林業景観」について、選定エリアの拡大などに要する経費を計上

Ⅳ 地域のつながりと家族のつながりでつくるまちづくり

おせっかい奨学金



974万6千円

おせっかい奨学ローンを活用して生活費を支援

観光施設管理事業

【議員】。場所はどのあたりになるのか。

【執行部】。恋山形駅の敷地内を考えている。

1,383万1千円

「恋山形駅」トイレ整備に係る一部負担を含む、観光施設の「おもてなし環境」を整える。



新規事業

CHiPs事業



3,586万円

★事業の特徴★

- ・智頭町での滞在体験を前提とする「起案制度」
- ・「関係人口」活用型の事業開発体制
- ・町全体を活かした「産学官民」連携による伴走支援

※CHiPs事業とは、内閣府の支援を受けながら、智頭町内の関係機関と連携し取り組みを行い、異業種・異分野等の共創事業を持続可能に育てること

3月 定例会

令和7年度 当初予算を可決

▼付帯意見▲

議会から執行部への付帯意見として、「人口減少対策について、より積極的に取り組んでいただくこと。その中でも、若者定住に主眼を置いた通学環境の改善等を早急に検討するよう求める。また、重要な政策決定のプロセスの説明があったとは言い難く、智頭町議会基本条例第7条に定めるとおり、今後の事業執行には十分留意されたい。」と申し添えました。

I 森の恵みを生かしたまちづくり

森林整備支援事業



2,062万9千円

間伐や作業道への県からの補助が一部廃止されることに伴う町独自の補助

森林セラピー推進

【議員】。森林セラピー受入体制拡充補助金とは。

【執行部】。ガイド自身が将来的に自立をめざすためのものである。



108万7千円

ガイド養成と事業運営体制を支援する

一般会計	特別会計	公営企業会計
316億8,430万円	19億8,430万円	37億8,430万円

一般会計補正予算

3月 定例会

■ ■ ■ 主な補正予算 ■ ■ ■

増額

up

地域経済活性化 促進交付金

(林業振興費)

※(杉小判一人5千円)

増額 3,100万円

補正後の総額

1億9,442万4千円

減額

down

税務総務費

定額減税調整給付金等の減。

減額

2,808万円

補正後の総額

1億1,503万円

病院施設費

病院事業会計繰出金の増。

※(物価高騰により)

増額 660万円

補正後の総額

6億45万2千円

商工振興費

特定地域づくり事業補助金等の減。

減額

1,440万円

補正後の総額

7,282万3千円

障害福祉費

障害者給付費の増。

※(報酬改定に伴い)

増額 2,707万円

補正後の総額

3億2,632万円

社会福祉総務費

住民税非課税世帯給付金等の減。

減額

1,705万2千円

補正後の総額

1億3,097万8千円

追加補正 (最終日)

◎総務管理費 町有林に関する住民訴訟代理委託料

増額

44万円

補正後総額

8億9,029万円

◎道路橋りょう費 除雪経費

増額

2,910万円

補正後総額

3億5,139万2千円

一般会計補正後の予算総額

70億6,844万9千円

決算見込みに基づき人件費、事業費などの調整により、減額補正2億3,383万5千円

人件費減額 5,795万6千円
事業費減額 1億7,587万9千円

条例の改正・一部改正

●刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
刑法の改正により、禁錮刑及び懲役刑が廃止されることに伴い拘禁刑に改める。

●職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

子どもの年齢に応じた柔軟な働き方を実現するため、また、介護と仕事が両立できる環境整備のために改正する。

●企業職員等の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について

療養従事者の確保を図るため、手当の支給に関し処遇改善手当を新設するとともに初任給調達手当を支給対象とする。

※企業職員とは、地方公営企業に勤務する一般職の地方公務員。(病院・上下水道)

他8議案

その他の議案

●第4次 智頭町行政改革プランの改訂

●公の施設における 指定管理者の指定

(智頭町立智頭心和苑及び 智頭デイサービスセンター)

(旧塩屋出店及び 西河克己映画記念館)

他2議案

発議

●第1号

智頭町議会の個人情報保護に関する条例の一部改正について

●第2号

議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

旅費に関する実費を弁償することを基本とし、支給対象を見直すことにより、町費を適正に支出するための改正



人事案件

●智頭町副町長の選任に同意

現在副町長を勤める矢部整氏を、引き続き選任することに同意した。

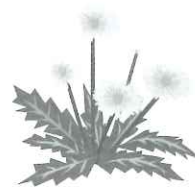


●智頭町監査委員の選任に同意

現在代表監査委員を勤める小林新氏を、引き続き選任することに同意した。

●智頭町固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

現在委員を勤める金允基氏を引き続き選任することに同意した。



陳情の審査結果

件名(要約)	提出者(要約)	審査結果
① 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁	趣旨採択
② 上新見谷川「砂防河川」の流路工等整備の陳情について	新見部落区長 河村 敏朗 他 住民一同 智頭町消防団富沢地区 担当副団長 西尾 文伴 新見消防団 分団長 河村 雄太	採 択
③ 裏金問題の徹底解明とパーティー券購入を含む企業・団体献金の禁止を求める陳情	平和・民主主義・豊かな暮らしをめざす鳥取県の会(鳥取県革新懇) 代表世話人 村上 俊夫	趣旨採択

【趣旨採択の理由】①願意は理解できるが、財源確保が課題。
③願意は理解できるが、国政の政治判断も含まれる内容のため。

■陳情書は定例会が始まる10日前までに提出ください。(土・日・祝日を除く)

詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。TEL:75-3115

◆次回の定例会は6月12日から開催予定◆ gikai@town.chizu.lg.jp

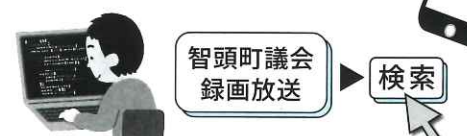
6人の議員が一般質問に臨みました!!

議員名 / 質問内容	議員名 / 質問内容
宮本 行雄 1. 鳥取県東部保健医療圏の医療連携に係る基本協定について 2. こども家庭センターについて	波多 恵理子 1. 新しい認知症観に基づく施策の推進について
大河原 昭洋 1. 今後のまちづくりと令和7年度予算編成について 2. 農地保全・農業振興について	谷口 翔馬 1. 人口減少対策について 2. 広報戦略について
岡田 光弘 1. 人材育成と人事評価について	仲井 茎 1. 性被害から子どもたちを守るための対策について 2. 智頭町の男女共同参画の取り組みについて

※一般質問の録画をスマートフォンや自宅のパソコン・IP告知端末で見ることができます!

■スマートフォン・パソコンを使って検索

QRコードの読み取り



■IP告知端末で視聴

- ①ホーム画面
- ②次ページ
- ③智頭町議会

上記の順番でタッチして下さい。
「智頭町議会録画放送」の画面が表示されます。



令和7年1月 第1回 臨時会

補正予算額

総額 9,744万9千円

物価高騰対策 住民税非課税世帯給付金

- ・住民税非課税世帯給付金(3万円)
3月31日給付 約980世帯
- 子ども加算給付金(1人2万円追加)
3月31日給付 約48世帯97人

3,310万2千円

職員給与及び期末手当ならびに 勤勉手当の改定に伴う人件費

6,143万1千円

条例の一部改正

特別職の職員の給与及び 旅費に関すること

特別職の職員給与に関する法律が一部改正されたことに伴い、町長等の特別職の職員期末手当を0.05月分引き上げるため、所要の改正を行う。

職員の給与に関すること

人事院勧告を踏まえ、給料表の改定を行うほか、期末手当ならびに勤勉手当を0.05月分引き上げるための所要の改定を行う。

人事院勧告を踏まえた職員給与及び 勤勉手当の改定に伴う人件費の調整

1月臨時会(1月17日)で、令和6年人事院勧告を踏まえた職員給与及び勤勉手当の改定のほか、人件費の調整の実施に要する町長提出の補正予算7議案と条例案件5議案を可決しました。
主な補正予算の内容は次のとおりです。





宮本 行雄

東部地域
公立病院

基本協定書締結の目的は

町長／安定的な医療体制の
確保を図っていく

問 鳥取県東部保健医療圏の医療連携に係る基本協定書は、「東部地域に所在する5つの公立病院における安定的な医療提供体制の確保に向け連携して取り組むため、締結された。」とあるが協定書の締結で町長が期待することは。

答 町長 安定的な医療体制の確保が大きな目的である。東部圏域の医療機関からの派遣体制の整備、医師の共有など横の連携を保つことを期待している。

問 町長が言われている一人ひとりに寄り添ったまち、住んでよかったと思えるまちにしていきたいため智頭病院の使命は、住民の健康

の増進を図り、地域の発展に貢献することが、人口減少の歯止め役立つと思うが、町長の考えは。

答 町長 病院は、町民にとってなくてはならない施設である。町民の命と健康を守り、治す医療だけでなく生活を支える医療の充実を目ざし、協定をもつて安定的な地域医療体制を確保することが一番だと思っている。



智頭病院の総合受付



大河原 昭洋

農業振興

目指す将来の農業の姿は

町長／多様な担い手が
活躍する農村社会

問 農家数の減少により今後守るべき農地を特定する目的で「地域計画」の策定が進められている。本町の目ざす「将来の農業の姿」に向けた具体的対策をどのように考えているのか。

答 町長 集落単位を基本とする地域の話し合いの場で、誰がどの農地を、そして何を作るかについて、適宜見直しを行うというプロセスが極めて重要である。関係機関などと連携しながら、実効性の高い取り組みにつなげていきたい。

問 販売農家の育成や農業後継者の確保のためにも販路開拓が重要と思うが、どのように推進していくのか。

答 町長 まずは市場調査を行い、需要と供給の分析、競合先との差別化のポイントを明らかにすること。そして、ターゲットとなる市場の選定、それからブランド戦略、マーケティングなど、様々な要素を組み合わせた調査、分析が大前提である。専門的なアプローチに至るまでに、できるところから始めたい。



各地区で開催された農業座談会(山形地区)



岡田 光弘

人材育成
と評価

人材育成と意識改革の
進め方は

町長／各種研修で
意識改革を図る

問 行政改革プランの中の職員数維持は行政サービスを落とさない姿勢の表れか。定員管理計画の中の人材育成・意識改革はどのように進めていくか。

答 町長 行政サービスの多様化、国や県からの権限移譲により業務は増加しており、これに見合った職員数は確保していきたい。また、人材育成と意識改革については、県の研修制度や企業の地域課題解決研修などを通じ進めていく。

成基本方針について、明確にするため広く住民に公開共有する考えはないか。

答 町長 人事評価制度で、個人の業務管理がしやすくなり、業務の内容に応じ評価ができるようになった。また人材育成基本方針については、作成はしたが公表してこなかった。今後はホームページなどで広く住民にも公開共有していきたい。



行政の拠点、智頭町庁舎



波多 恵理子

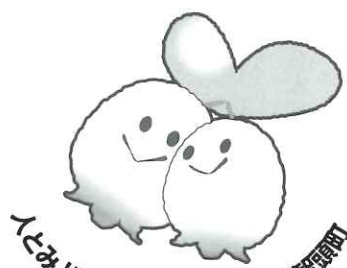
認知症
対策

認知症施策の取り組みは

町長／新しい認知症観の
周知が重要

問 令和5年6月に共生社会の実現を推進するための認知症基本法が成立した。認知症になっても個人として尊重され、自分らしく暮らし続けられる新しい認知症観に基づいた施策が必要であり、認知症の人の意見を聴く体制の構築と社会参加の確保、家族支援の充実が大切と考える。本町における認知症施策推進計画策定の今後の予定は。

答 町長 第10期高齢者福祉計画介護保険計画策定の中で検討したい。策定委員の中に認知症当事者の参加も必要であり、そのためには、新しい認知症観を広く住民に周知し理解していただくことが重要。



智頭町認知症マスコットキャラクター「キラリとサラサ」

問 人格形成の重要な時期である小中学生が認知症の症状や接し方などを学ぶことは様々な観点でとても大切と考えるが、学習に取り入れてはどうか。

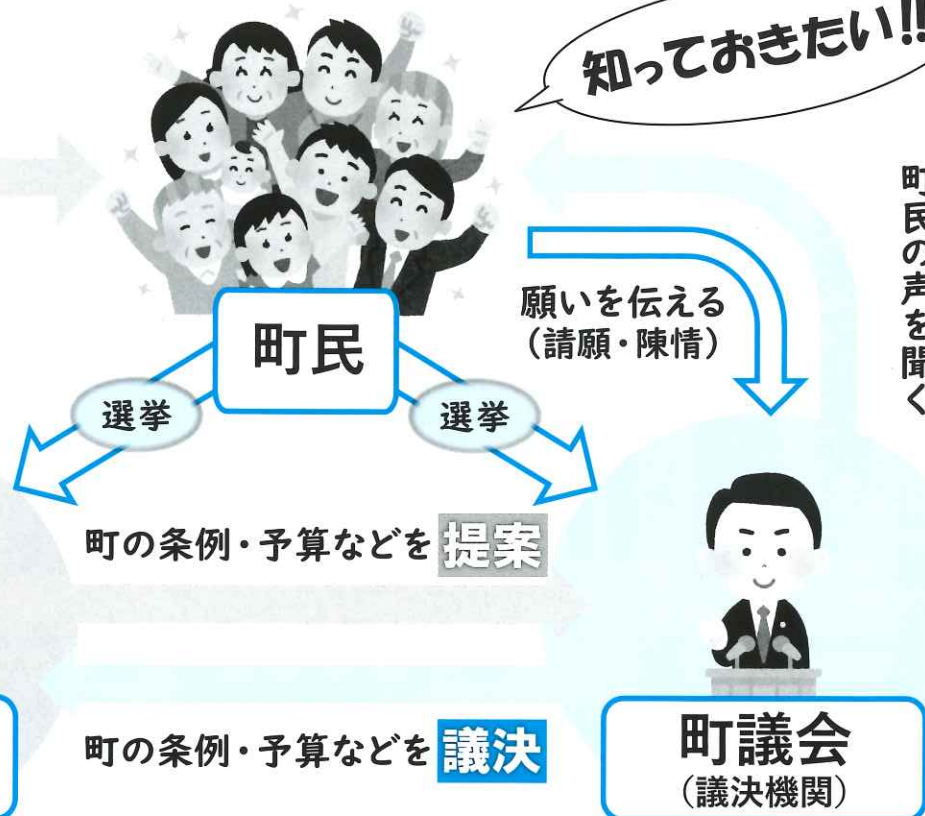
答 町長 人権教育として、県が行っている認知症サポーター養成講座を利用することにについても、働きかけをしていきたい。

町議会の役割について

町民のために業務を行う

知っておきたい!!

町民の声を聞く



智頭町議会のスケジュール

議会は年4回開かれる定例会（6月・9月・12月・3月）と、必要に応じて開かれる臨時会、毎月開かれる各常任委員会、全員協議会、各種研修会などがあります。

本会議初日	本 会 議	本会議最終日
◎開会 ・常任委員会付託 ・採決 ・質疑・討論 ・議案等について説明 （提案理由説明）	・常任委員会審査 ・一般・代表質問	◎閉会 ・採決 ・質疑・討論 ・常任委員長報告

本会議・・・議員全員で開く会議で、議案の提案から採決、一般質問などが行われています。

◆常任委員会

委員会名	主な調査内容
総務常任委員会（6名）	地域防災対策、商工労働、観光対策、定住促進、教育環境の整備など
民生常任委員会（6名）	福祉、農業・林業対策、公共土木事業など
広報広聴常任委員会（12名）	議会だよりの編集・発行、出前広報ほか

※次期改選（本年7月執行予定）より議員定数は12名から10名となります。



谷口 翔馬

スクールバス

ゆめが丘にスクールバスを
教育長／公平性に欠ける

問 ゆめが丘の通学利便性向上のためにも、スクールバスの路線変更が必要ではないか。

答 教育長 ゆめが丘と通学距離が同じような集落、また、ゆめが丘より通学距離が長い集落もあるので、公平性に欠けると考え路線変更について、現在は考えていない。

問 公平性の問題はあるが、考慮して、町民に寄り添っていかねければ、人口減少を抑えることは難しい。一度ゆめが丘から通学路を歩いてみたが、街灯は少なく見通しも悪く危険だと感じたが安全性としてはどうか。

答 教育長 通学路の危険性がある場合は、県や管理者に要請していく等、今後前向きに考えていきたい。

問 ゆめが丘に本町の定住促進住宅を整備しているが、スクールバスを通すことでゆめが丘の需要が高まるのでは。

答 町長 定住促進住宅の目玉だからという言い方も分らないが、公平性に欠けるので現段階では難しい。



スクールバス



仲井 莖

日本版DBS

日本版DBSの
創設に向けて
町長／何ら手をつけていない状況

問 令和5年10月、刑法が一部改正された。性交同意年齢13歳が、16歳に引き上げとなり、16歳未満の子どもが、5歳以上の年の離れた者との性交は、犯罪行為とみなされる。

内閣府男女共同参画局は、性交を伴う性暴力被害に最初に遭った年齢の調査を公表しているが、未就学児が3%、小学生が8・4%、中学生が12・6%、高校生年代38・9%となっており、加害者は、顔見知りや実の親、育ての親というケースもある。

答 町長 施行日がまだ未定であり、法施行のガイドラインなども国が検討中で詳細が全然分からないという状況である。

今後、それらが示された後に、町としてどういう姿で施行していくのかということになるため、今現在では何ら手をつけていない状況である。



◆本文は、本人の意向により、原稿のまま掲載しています。

民生常任委員会の報告

2月
3日

智頭町社会福祉協議会・智頭病院・福祉課 との意見交換会

2019年以降、5年ぶりに智頭町社会福祉協議会・智頭病院・福祉課との意見交換会が開催された。

月例での民生常任委員会で、智頭病院と智頭町福祉課とは報告や意見交換が行われているため、智頭町社会福祉協議会との意見交換が中心となった。

智頭町社会福祉協議会の状況として、居宅介護支援や訪問介護の利用者が介護保険事業計画の想定より少ないことから、ミニデイやサロンの利用が活発であり、介護予防の取り組みの効果がでているのではないかとのことであった。また、他の自治体にはない社会福祉法人減免制度等(利用料の一部を福祉協が負担)を導入することによって、誰でも利用できるような負担の軽減を図っていることなど、きめ細やかな対応がなされていることが分かった。そして、病院との連携がとれていることも強みの一つではないかとのお話であった。利用者側だけでなく職員の離職率も5%という低さであることから、働く環境にも配慮されていることもうかがい知ることができた。

今後の課題としては、想定以上の少子

化が進むことによつて、介護人材をはじめ必要とされる福祉に関わる人材の確保が懸念されるという点である。

この点については、今から10年、20年先を見据えた人材確保や、IT技術などを用いた生産性の向上を図って準備していかなければ、一定のサービスの維持もままならないと感じた。いかに「賢く縮む」か、住民主体の介護サービスの定着と発展など智頭らしい住民力を活かした取り組みを強化することにより、持続可能な福祉の体制づくりを今後とも強化していくべきであると感じた。



智頭町社会福祉協議会、智頭病院と意見交換

1月
14日

2月
18日

3月
12日

月例委員会

所管各課の事業進捗状況などについて、質疑を行いました。

主な質疑

Q 令和7年度、小型歩道除雪機の購入予定は。

A 5台を考えている。



小型歩道除雪機

Q

無料住宅耐震化促進個別訪問を那岐地区で実施されたが、次はこの地区を考えているか。

A 次は、山郷地区を重点に実施しているかと考えている。理由としては、山郷地区が支え愛マップを全集落でやっているところを確認しているため、防災等の意識の高いところを重点的に実施しているかと考えている。

総務常任委員会の報告

1月
21日

月例委員会

所管各課の事業進捗状況などについて、質疑を行いました。

主な質疑

Q 鳥取県教育委員会の考え方で、小中学校の授業が5分や10分時間短縮できると新聞に掲載されたが、本町としての考え方は。

A 全国的には授業の時間短縮している学校は多いが、子どもにとってどういう時間割が良いか考えて現在の小学校45分、中学校50分としている。今後もこのままでいくかどうかは、状況を見ながら判断していく。

2月
18日

月例委員会

所管各課の事業進捗状況などについて、質疑を行いました。

主な質疑

Q 防災公園について、公園という言葉が一人歩きしている。「防災公園とは」という説明が必要ではないか。

A ワークショップ等で、防災公園について説明していきたいと考えている。

Q ふるさと納税について、初の2千万円超えだが、大幅な増の要因は。

A これまでは「ふるさとチョイス」を中心に、ラシックと連携して進めてきたが、加えて「さとふる」も同様に梨やカニを返礼品に追加していたため、年末に増加したと分析する。

Q 智頭急行の恋山形駅トイレ整備について、地元説明はされているか。

A 事業化する前から役員の方を集めた説明会は何度かしている。

Q 観光について、インバウンド対策は考えているのか。

A インバウンド対応で1市6町麒麟のまちの重要施策で主要事業に位置づけてインバウンド対応をやっているという流れになっていくので、観光協会とも一緒に、詳細について今後検討していく。

Q 埼玉県で下水道管による沈没事故があったが、本町も下水処理場の近くはそれなりのものが敷設されていると思われる。本町の点検状況は。

A 直径2m以上の管路のあるものは緊急点検の指示が県からきたが、本町の一番大きな管路が35cm、県内でも2mを超えるものはない状況。耐用年数が50年であり、一番古いもので30年未満ということで腐食などもおそらくないものと考えている。随時マ



あなたの創業プランを
智頭町がまちぐるみで
応援します!

"CHIPs Audition 2024"

2025年も開催予定

※お問合せは、上記のQRコード
読み取り、または企画課へ

A

ンホール等の修繕は行っている。また、先般路上目視ではあるが、国道県道等の管路、埋まっているところの目視での点検を行っている。

3月
13日

月例委員会

所管各課の事業進捗状況などについて、質疑を行いました。

主な質疑

Q スタートアップ補助金オーディション1位通過者はどのような事業なのか。

A 6年度は、「人とペットが癒されるまち智頭町」が提案されて、ペット商品の開発を智頭町というものが1位通過者となっている。

議会だより169号に関する
議会広報モニターからの
ご意見を紹介 (町民13名)

【議会だよりの編集に関すること】

全体の構成

(見やすさ・記事量など)に関する意見

『よい』9名、『普通』4名。

わかりにくい言葉、
説明が必要な内容に関する意見

●7ページ

Q 総合窓口「ふくりん」とは、どのような機能と特徴があるのでしょうか？

「ちづ暮らしサポートセンターふくりん」とは、福祉課内に設置した総合窓口です。

A 今までは相談に町民の方が訪れても、要件によって各課に行く必要がありました。生活の課題が多くても一カ所で相談を受け止め(ワンストップ)、担当が必要な部署と連携していく仕組みとなっています。

A 相談内容については自分のこと、地域のこと、どんなことでもお受けできますので、詳しくは福祉課にお問い合わせください。

※モニターさんの意見は原文のまま掲載しています。

※相談を受けて、課題を整理して、地域のひとと繋がりがながら地域で暮らしていく方法を一緒に考えるものです。

●9ページ

キャロウェイの森の位置、言葉の意味は？所有者・管理者は？

A 智頭町芦津地区内の「芦津財産区有林」で、有力なゴルフ用品メーカーの「キャロウェイゴルフ(株)」「(二社)more trees、芦津財産区議会、町が協定を締結し、ミズナラ等の植栽を行うなど、連携して取り組みを進めています。

【所有者 芦津財産区】
【管理者 智頭町長】



●10ページ

クラフトジン「常盤」について、その内容は？

A 令和5年度、本町をフィールドとして、那岐地区の活性化をテーマに実施された「企業研修ALIVE」において、お酒を活用した町おこしの提案があり、結果、事業不採択となったものの、その後関係者のみなさんが研究を重ね、開発されたのが、このクラフトジン「常盤」です。

A 香り付けに本町で育った杉や檜の皮が使用されており、町のPR商品になる可能性も秘めています。

なお、現在はネット販売のみとお聞きしていますが、町内ではハイカラ市や雪まつりなどといったイベントでも販売は行われています。

【町政全般・議会活動に関すること】

特に気になったページに関する意見

●4ページ

・町会議員になるには、ということばかりやうい図もあり費用や別のページには報酬のことなども掲載してあったので議員になるための検討材料の一つにはなったと思います。

●15ページ

・人口減少対策について各地区で意見交換会をされていることが良いと思いましたが、もともと町民に投げかけても良いと思います。

その他に関する意見

・「のりりん」の交通事故について

この1月に国道53号線、備前橋から横切った際に直進車(鳥取方面)に追突して横転させる事故が2件続けて発生しましたが、のりりん運転者の安全運転講習教育が改めて見直す必要があると感じている所です。

※担当課が、定期的に安全運転の啓発をより強化していきます。

奈義町議会議員交流会

■場所 岡山県勝田郡「奈義町役場」

■参加者 議員10名 ■研修日 1/21

■内容

智頭町・奈義町議会議員交流会

■所感等

こども園は一つの保育園と二つの幼稚園を統合し、新設の設備を整備しており、総工費は17億7千万円である。中学校は長い議論を経て総工費20億7千万円で新築しており、いずれも巨費を投じて教育施設の整備を行っている。

A 自衛隊が駐屯する交付金を基金にした他にはないメリットを最大限に生かした大胆な事業は、子育てに対する強い思いを体現するものと感じる。ソフト面ではA L Tを計12名配置し、英語によるコミュニケーション能力の向上と「物おじ」しない力を育てることを目指している。町の特性を最大化することは両町の発展には欠かせないと強く感じた。



新設のなぎ子ども園

自治功労賞

鳥取県町村議会議長会自治功労者



町村議会議長として7年以上在職し、多年にわたり地域の振興発展に寄与貢献され、功労のあった者として、谷口雅人議員が全国町村議会議長会から特別表彰されました。



智頭町に残してほしいもの 2題

◆ 智頭病院 と 智頭農林高校 ◆

岡田 はじめ さん(山郷地区)

(その1) 智頭病院

現役を退いて自分なりに忙しい日々の中、病院のお世話になることが多くなりました。

七十余年前、中国山地の山奥の町によくぞ「病院建設」という大プロジェクトを立ち上げていただいたものと思います。お陰で後の私たち町民にどれだけ大きな「健康」を授けてくれたか計り知れません。発案した人はもちろんのこと、それに賛同した当時の町長はじめ議会の人たちの先見性と洞察力には心から敬意を表します。

少子高齢化の進む中において、各種調査によっても住みたい条件に病院があることが大きな条件になっていることは今更申し上げるまでもありません。

町の予算一般会計約70億円の中で、6億円の繰出しは、ほぼ全額を国からいただいております、純粋に町から

の持ち出しは約4千万円であり、町民の健康管理のためには安いものと思います。巷間、病院は金がかかるからと存続に否定的な話を聞くことがあります。果たしてきた役割、これからの重要性をよく吟味してからにしてほしいと思います。



▲智頭病院

(その2) 智頭農林高校

県教育委員会が生徒減少に伴い高校再編を計画しています。

学級数の縮小、科の削減、さらには学校の閉鎖と、私にはますます発展性のない教育行政と思えてなりません。

わが智頭町には県立智頭農林高校があります。創立以来智頭町をはじめ

郡内はもとより県内外から多くの学生が学び、優秀な人材を輩出し、各界で活躍してまいりましたし、今でも優秀な人材を世に送り出し続けています。

林業関係科は全国でも数校しかないそうですが、その特殊性をさらに充実させてその存在を、「智頭町立智頭農林高校」のような気持ちで、町や議会の皆さんと共に町民挙げて県に存続をお願いしようではありませんか。

町民の健康と

子どもたちのために

「病院と学校」いつまでも存続してほしいと切に思います。



▲智頭農林高校

編集後記

3月定例会で、令和7年度一般会計予算等43議案を審議し全会一致で可決しました。

新年度予算では予算の適正化に努めながらも安全安心で、魅力あふれる元気なまちづくりの実現に要する経費が計上され、総額前年度比1千万円0.1ポイント減の68億7千万円の当初予算となりました。

新年度が始まり、我々議員も人口減少問題を始めた様々な課題に取り組む決意を新たにし、議会だよりを通じて活動の情報を町民の皆様に分かりやすく伝えるための更なる努力を行ってまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。(波多)

編集 広報広聴常任委員会

委員長 波多恵理子

以下議員全員

発行責任者 議長 谷口 雅人